

基礎データ

【人口】 2,465人 (H20.10.31現在)

【世帯】 728世帯 (H20.10.31現在)

【面積】 約830ha

【公共施設】 田原市役所渥美支所・渥美文化会館
・渥美郷土資料館・清田保育園・清田小学校

【文化財】 泉福寺・中世墳墓・間宮屋敷跡

【主な産業】 商業・農業・漁業

豊かな自然環境
みんなに愛される地域
みんなで人づくり



● 校区自己紹介 ⑤

校区の歴史的概要

清田校区は、山・川・海と平坦な土地が広がり、自然豊かなところである。

福江湾に注ぐ免々田川の清流にはゲンジボタルが生息していて、その河口には干潟が広がっている。海には多くの魚介類が生息し、古くからこの地域の人々に海の恵みをもたらしている。

山田地区は聖地として古くから人々の信仰を集めていた。ここには渥美半島随一の由緒ある泉福寺が鎮座し、鎌倉時代から戦国時代には墓地が営まれていた。高木地区の泉福寺北側の山腹から山麓にも寺院、神社があって、信仰の山というべき場所である。

貴重な散策道と泉福寺周辺

泉福寺からタコウド(高処)・ミハリ山・雨乞山へと散策道が続いている。道端には、ヒトツバ、コク



●ふれあい活動「里山ウォーキング」ミハリ山

ランの群生、コバノミツバツツジもひとときわ目につく。

道中の見晴し岩・弁当岩・ミハリ山や雨乞山の山頂では、太平洋や三河湾、校区全景などが一望できる素晴らしい景観に出会うことができる。

散策道を整備し、ふれあいの活動として「自然を学びながら地域の宝さがし～心とからだを磨く～」と題して、里山ウォーキングを実施している。

里山づくり



●泉福寺本堂

泉福寺周辺には多くの文化財が残されている。中世墳墓や江戸時代に築かれた石段はよく知られている。市指定の天然記念物や市選定の巨木も多く、サンコウチョウ・キビタキ・オオルリといった野鳥のさえずりを聞くことができ、学習や憩いの場として最適である。

こうした自然の宝を生かすため、里山づくりに取り組んでいる。

この活動を通して地域づくり、ひとづくりが期待できる。現在、里山づくりで伐採をした竹や樹木を活用して、竹炭づくりやシイタケの菌打ち体験を行っている。竹炭は免々田川に設置して、川の水質浄化を試みている。

広大な干潟と漁場

古田から折立、高木の海岸一帯は、渥美半島最大の干潟で、冬にはノリの養殖場となり、一年を通してアサリを中心とした採貝が行われている。

海岸線はコンクリート護岸となっているが、大潮時には広大な干潟が姿を見せる。潮干狩りや釣りで親しまれている場所でもある。

漁業をしたり、さまざまな生物とたわむれたりして、人々が積極的にふれあう里海であってほしいものである。

(文:清田校区)



●ふれあい活動「潮干狩り」